

THE Y'S MEN'S CLUB OF TOKYO-GREEN

東京グリーン

CHARTERED 1973

<VOL. 530 2017.05 >

BULLETIN

2016年7月～2017年6月



国際会長
アジア会長
東日本区理事
関東東部部長
クラブ会長

Joan Wilson「私たちの未来は、今日から始まる」(カナダ)
Tung Ming Hsiao「ワイズ運動を尊重しよう」(台湾)
利根川恵子「明日に向かって、今日動こう」(川越)
片山 啓「組み合わせられ、結び合わされて、造り上げられてゆく」(茨城)
浅見隆夫「親睦なくして奉仕はない」(グリーン)

会長 浅見 隆夫
副会長 西澤 紘一
書記 目黒 卓
会計 平林 正子
監事 柿沼 敬喜
担当主事 松本 竹弘

5月 母の日

ちょうど母親がその子供を大事に育てるように、わたしたちはあなたがたをいとおしく思っていたので、神の福音を伝えるばかりでなく、自分の命さえ喜んで与えたいと願ったほどです。

(テサロニケの信徒への手紙 2:7, 8)

2017年05月 第一例会

日時:2017年05月17日(水) 18:30～20:30
場所:千代田区和泉橋区民館 2階
千代田区佐久間町 1-11 TEL03-3253-4931
受付:佐野君/司会:布上君

開会点鐘 浅見会長
ワイズソング・ワイズの信条 全 員
聖句・お祈り 古平君
ゲスト・ビジター紹介 浅見会長
食事 (一言添えてニコニコ献金)

ゲストスピーチ 紹介 浅見会長
東京多摩みなみクラブ 伊藤幾夫 メン
卓話 「ものの見方・考え方」

神田川関連報告・協議 稲垣君
YMCA 情報 松本君
Happy Birthday<5月青木メン・目黒メン 2名>
ニコニコ発表 浅見ク君
閉会点鐘 浅見会長

*第75回神田川船の会が天候不順で開催中止となり、今後の対応、次回開催などにつき討議をします。

～ EF/JEF 強調月間 ～

EF<Endowment Fund>

国際ワイズダム発展のための特別基金。
個人・クラブが記念すべき出来事、行事慶弔事などの折、寄付金を国際協会に送金し積み立てます。基金評議会が管理し運用する。US120 \$ 以上の場合寄付者名と記念事業等を国際協会が「ゴールデンプック」に記帳し永久保管します。

JEF<Japan East Y's Men's Fund>

東日本区ワイズ基金。
JEFは、東日本区ワイズ運動の継続的な組織と事業の発展のために、個人・クラブが記念すべき出来事、行事、慶弔事の際に、感謝の気持ちを表す拠金で成り立っている、東日本区独自の基金です。1997年に旧日本区の日本ワイズ基金等をもとに2,500万円の残高でスタートしました。これまで、ワイズ記念誌発行支援、国際大会・国際交流活動の支援として通訳機器の購入、YMCAの支援としてはYMCA東山荘100年募金への協力などを行ってきました。寄付をすると、寄付者名とその理由を「奉仕帳」に記帳し永久に保存するとともに、区報にも掲載します。
現在の残高は約1,500万円です。クラブチャーター、周年記念、IBC・DBC締結記念、役職就退任感謝、誕生日・結婚・お子さまの成長等の記念、病気快気、宝くじ当選、遺贈等どんな時にも、あなたの感謝の気持ちを表す機会として献金をお願いいたします。(理事通信5月1日号より抜粋/布上)

【例会出席率】 在籍:17名(含広義会員1名) メーキャップ 2名 出席率 14/16 88%

出席:4月例会 (グリーンメン 12名、メネット1名)計 13名

【ニコニコ】 4月例会 13,000円 累計 99,000円

＜2017年04月第一例会報告＞

＜2017年04月第二例会報告＞

日時:2017年4月19日(水)18:30~20:30
場所:千代田区和泉橋区民館 2F
出席:青木・浅見(ク)・浅見(隆)・稲垣・柿沼・古平
佐野・高谷・西澤・布上・花井・平林・(メネット)布上
(ゲストスピーカー)松本竹弘担当主事



4月1日から、前任の花井主事と交代して松本竹弘主事が初めてグリーンの例会に出席され、お話を伺った。事前にいただいたプロフィールのキャリアに書かれていた通り、YMCAとの関わり、就職後の各センターへの移動、東陽町センター館長として、現在の思い、さらに、中期計画、将来への展望と期待、ブランディング問題・・・諸々について1時間弱、和気藹々の

雰囲気を保ちながらお話をされた。お話のサワリはご自分の名前。「竹」は打たれてもすぐに戻る。「弘」は弘法大師の「弘」からいただいた、と親から言われている。そもそもYMCAとの関わりは<ラケットボール>である。こんなに面白いスポーツがあるものかと思った。それをやるコートがあるのが東陽町のYMCAであったので訪問したのがきっかけで、スタートはYMCAの専任コーチとしてラケットボール、水泳、さらにキャンプ指導、等を行い、職員となつてからは、外部指導、行政との協働事業などを現場中心に働いてきた。また、神田のYMCA閉館作業にも拘わり、これは大変貴重な経験となった。

本題、今後のYMCAの課題については2016年8月に発行された「東京YMCA」2016年7月/8月号に詳しく載っている「2016-18年中期計画」をなお継続して進めている。

基本方針(項目のみ列記)

- 1)社会、青少年を取り巻く変化を見据えた新事業の展開
2)会員活動の活発化
3)東陽町会館からの移転とそれに伴う事業再編成
4)事業展開およびコミュニティーセンターの充実と拠点配置
5)スタッフの育成 6)財政の健全化
7)東京YMCAグループ法人との協力

また、東陽町センターの建物については1~2階は従来通りで、会員部との事業、各種の集いは継続できる。3階は別会社のゴールドジムが入る。また、食堂は閉鎖されるが別の案で再開の可能性もある。さらに現在進めている「ブランディング問題」も成功させたい。等々、詳細は書ききれないが松本主事のYMCAへの真剣な取り組み姿勢が確認でき、クラブとして出来る限り応援していきたい。主事就任祝いに近くの居酒屋でささやかな歓迎会・宴席を持った。

宴会好きの有志7名同席。(布上 記)

Happy Birthday

05月 青木方枝(メン) 目黒 卓(メン)

クラブの円滑な運営のため、年会費をお納め下さい

(2016-17年度 会計:平林正子)

みずほ銀行・戸越支店(普通 2208674)

(口座名)東京グリーンワイズメンズクラブ

1. 配布資料

- ①東日本区ロースター初校 回覧済み
②4月クラブブリテン配布 配布
③十勝ワイズメンズクラブ40周年記念誌 回覧

2. 報告・連絡事項

- ①竹内敏郎さん「お別れの会」
2017年5月27日(土)13:30~16:00
熱海YMCAセンター 会員大会の爲、欠
②第3回関東東部評議会 4月15日(土)
東陽町センター 13:00 受付
出席者:柿沼会員増強事業主査
浅見会長・布上第二書記・平林会計
③神田川の関連 開催詳細は4/5委員会通り
「のぼり3本」出来上がり 5,495円 会より支出
④CS写真コンテスト
布上 3枚選んで提出(神田川関連)・・・4月中
⑤車椅子贈呈先募集のご案内
柿沼メン、プルトップ提供者に打診する。
⑥4月例会卓話 松本竹弘新担当主事
4月ブリテン プロフィール掲載
今までのボランティア活動/今後の東京YMCA
について PPT使用 プロジェクター・PC準備
⑦5月例会卓話 伊藤幾夫 東京多摩みなみクラブメンバー 「もの見方、考え方」
(PPT・プロジェクター使用) PPT編集:布上
⑧YMCGツアーin沼津 第6回大会 5月17日
沼津ゴルフクラブ伊豆コース・駿河コース 欠
⑨アジア太平洋地域大会(チェンマイ)
7月21日~7月23日 登録費360ドル 欠
7月20日モスキートカップゴルフ大会
⑩第20回東日本区大会
販売コーナー 晩餐会アピール 募集 なし
⑪第27回東京YMCAチャリティーゴルフ(総成CC)
31組・122名の参加で開催。
チャリティー益金役50万円強を寄贈できた。

3. 審議・協議事項

- ①5月27日 YMCA 東陽町にて「会員大会」
グリーンクラブは「神田川船の会」
アピールコーナー検討
ポスターと開催の画像数枚を展示予定
②5月13日 たんぽぽクラブ15周年記念。(浅見隆夫 記)



5月13日(土)第75回神田川船の会は
天候不順で開催中止となりました



日時:2017年4月15日(土)13:30~16:00
 場所:東京YMCA東陽町センター;視聴覚室
 出席:浅見会長 平林会計 布上(征)第2書記
 柿沼会員増強事業主査
 布上信子次期メネット事業主査

部長報告、各事業主査報告、各会長報告に続き協議提案として片山部長より*ユース支援金に関する部則改定に関して*30周年記念事業積立*部会員全員へのアンケートの実施などが提示され協議されました。

次に審議議案が3件あり

第1号議案

国際ユースコンボケーション支援金補助の要請

提案者 東京北クラブ会長 提案内容 承認
 補助金3万円

第2号議案 関東東部次期役員承認の件

提案者 長尾次期部長 次期役員一覧表提示 承認

第3号議案 次期東日本区代議員の人数と選出の件

提案者 長尾次期部長 東日本区定款第6条第5項に基づき片山 啓氏を推薦 承認

評議会閉会后「やるき茶屋」にて懇親会。多くの方々が参加され懇親が深められました。特に平林会計・布上次期メネット事業主査の人脈も広がり有意義な懇親会となりました (浅見 記)



「第27回東京YMCAチャリティーゴルフ大会」は4月13日、桜満開の成田市「レイクウッド総成カントリークラブ」で開催。31グループ122名が参加。チャリティーとしては、支援金504,000円を菅谷総主事に進呈した。我々委員会としては会場予約、参加者集め、賞品揃え、等など、いつもながらの苦労は楽しみながら進めてきたが、当日の対応で東京YMCAの会員部及び担当の諸君は、ゴルフには慣れていないにも関わらず、本当に良く動いてくれた。今回も参加の皆さんは喜んでお帰りになった様子。(布上 記)

 雑感・鯉のぼり



私は別に目的を持たず地方の町や郷の空気に触れるドライブが大好きです。高速道路はゴルフなど時間までに目的地に着かなくてはいけない往路は利用しても復路はノンビリと一般道を走るのが常でした。若いころはかなり遠出しましたが、関西圏に入るとガラリと雰囲気が変わり文化の違いを肌で感じられました。

特に関東圏では5月が近づくと旧家には親戚中から贈られた鯉のぼりが金色に輝く矢車を中心にいっぱい泳いでいました。関西圏では鯉よりも幟が多く立てられ、馴染みの薄い私には神社がいっぱいあるのかと勘違いした思い出があります。

高齢を理由に自分で運転せず同乗させていただくようになり、却って周りの景色をノンビリ見られるようになりました。先日水彩画教室で筑波方面にスケッチに出かけましたが何か風景にもの足りなさが感じられ同行者に疑問を投げかけると、そうです鯉のぼりが全く見られないのです。東京に帰り着くまで注意して見ていましたが殆んど鯉のぼりを見つけられませんでした。一昔前までは団地の小さな窓にさえ鯉のぼりが一杯泳いでいたのにね!

(浅見隆夫 記)

5月 ゲストスピーカープロフィール

伊藤 幾夫 ㊦

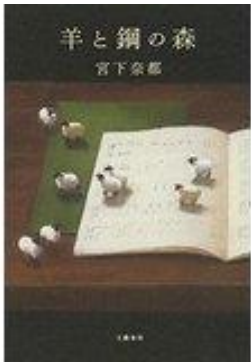
1950年2月 67歳 (生まれ:厚木市)
 2015年~東京YMCA高等学校講師
 2015年~社会福祉法人紫苑の会理事
 2015年~町田市社会福祉協議会運営委員
 2015年~町田市ボランティア連絡協議会副会長
 2015年~町田市役所審議会委員

YMCAとの関係

1986年~YMCAキリスト者中学高校教師の会
 1988年~ワイズメンズクラブ国際協会
 東京クラブ、東京まちだクラブ、東京コスモスクラブを経て 現在、東京多摩みなみクラブ在籍
 1991年~東京町田YMCA運営委員
 2014年ワイズメンズクラブ東日本区LT委員長
 2016年 東京YMCA維持会員 25年表彰
 所属教会 日本キリスト教団 紅葉坂教会

例会演題 「ものの見方・考え方」

第36回 「羊と鋼の森」 宮下奈都著 (文芸春秋社、平成28年)



平成28年度の本屋大賞を取った作品である。宮下氏は、1967年福井県で生まれ上智大学文学部哲学科の出身である。派手なストーリー展開は無いが、日常性の中に生まれる人生の細かい贅を巧みに描いている。この本のタイトルにある「羊」は、羊の毛で編んだフェルト製のピ

アノのハンマーを表し、「鋼」は、ピアノの弦を表している。そして森とは、音楽の持つ深さと広さを象徴的に表現しており、読み終わった後にタイトルの巧みさに心が震える。

主人公戸村は、高校3年生になっても自分の進路を決めかねていた。山の中にある田舎の高校であり、特に興味のある刺激を受けることも無かった。ある日、学校の体育館にあるグランドピアノの調律に来た調律師の板鳥と出会う。音の狂ったピアノを巧みな技で生き返らせてゆく調律師の仕事を見てその魅力の虜になってしまう。高校を卒業するとピアノ調律師養成専門学校に2年間通い、そこを卒業すると師と尊敬する板鳥に何度も懇願して、彼の勤める町の楽器屋への就職を果たす。その楽器屋で、調律師のトップ板鳥氏、先輩の柳氏、秋野氏、事務の北川さんなどとの職場生活が始まる。戸村にとっては全てが新しい経験であり、先輩に恵まれてピアノ調律職人としての成長を少しずつ続けていた。そのうち佐倉家で双子の姉妹のピアノを調律する機会があり、姉の和音と妹の由仁が弾くピアノにすっかり魅せられてしまう。あるとき、妹の由仁がピアノが弾けなくなり、調律の仕事が無くなってしまった。戸村が寂しい思いをしていると姉の和音がプロのピアニストを目指すことが分かり、妹の由仁は姉の支援のために調律師を目指すことが分かる。ピアニストと調律師が、表裏一体となって音楽を作り出してゆく様に興味がそそがれる。まさに森の神秘に触れる快感を味わうために、ピアニストと音楽の深い森の中をさ迷うつつあるのが調律師であると結んでいる。

文中に音楽と天文学の類似についての会話があり興味深い。昔のギリシャ人は、天に輝く幾多星を想像をめぐらせて88の星座に分類した。一方、音楽の世界でも、ピアノのけん盤が88個となっている。無限の音の中から88の音階を抽出して、無限に広がる楽曲を創造することと、無限の星から目印になる星を抽出して天文学を作り出すことと類似点があると。他にも、基本音の「ラ」は440Hzであるが、ピアニストによっては430や450に変更することがあると言う。きわめて単純で、日常性の中に埋もれた調律師のプロ意識、彼らが音楽を創造する一方の担い手であることが良く分かる。

(西澤 紘一記)

▼4月13日、「第27回東京YMCAチャリティーゴルフ大会」を千葉県成田市の「レイクウッド総成カントリークラブ」で開催し、31グループ122名(新規参加者は33名)が参加しました。好天に恵まれ桜も楽しみながらプレーできたとの声もたくさん頂きました。支援金504,000円はフレンドシップファンド(経済的困難を抱える子どもたち支援)や障がい児及び不登校児支援活動のために用います。

▼熊本大地震から1年目となった4月15日、益城町と御船町の避難所関係者を対象に「熊本未来笑店街」が御船町スポーツセンターで実施されました。「熊本地震から一年。進もう前へ。」というテーマのもと「ふっこう商店街」や復興祈念パネルディスカッション、映画上映などが行われました。思い起こすと1年前の5月14日に、熊本YMCAが運営していた御船町の避難所において、震災一か月イベントが開催されました。震災後1か月はまだどこも現状を整



えることで精一杯の状況。だからこそ、みんなに元気になって欲しいとの思いから熊本YMCA主催のイベントを実施したことを思い出しました。多くのYMCAの寄せ書きが集まり、避難されている方と一

緒にイベントが作られました。これからもできる限りの支援を続けていきたいと思えます。

▼5月3日～5日、山中湖センターでボランティアリーダー対象の「プレキャンプ」が開催されました。プレキャンプは、リーダー一人ひとりがキャンプの実体験を通し手法を理解すること、そして仲間との出会いの中から新たな気づきと意義を見出すことをねらいとして毎年開催しています。今年は、リーダー44名、OBOG6名、スタッフ7名、合計57名が参加し、チームビルディング、野外炊事、キャンプファイヤーなどを楽しみました。リーダートレーニングでは経験豊かなOBOGたちが協力をしてくれます。また、このプレキャンプに参加し、トレーニングを積み重ねた若いボランティアリーダーたちが夏のキャンプで活躍をします。



(担当主事 松本竹弘 記)